



Hydraulic Sissors Jack

油圧シザースジャッキ 取扱説明書

対象品番：TSJ-850/TSJ-1000

この度は **TRUSCO** 油圧シザースジャッキをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

商品
情報



▲ 使用上のご注意

- ・ジャッキは柔らかい地面、斜めの地形、凸凹な地面での使用は危険です。必ず、固い水平な場所でご使用ください。
- ・下記の車両重量の車にご使用ください。

品番：TSJ-850 に対して対象車両重量 1,500kg 以下です。

品番：TSJ-1000 に対して対象車両重量 1,800kg 以下です。

- ・次の操作は故障破損の原因となり危険ですので絶対にしないでください。
 - ①ハンドルは備え付けのものを使用し、他のハンドルは使用しないでください。
 - ②ハンドル操作は全体重をかけたり、足踏み操作での作業は絶対にしないでください。
 - ③ハンドル操作時ハンドルを左右に振らないでください。また、ジャッキの使用時ハンドル接手を差し込んだままにしないでください。ハンドルにつまづく危険があります。
 - ④リリース弁は 2 回転以上ゆるめないでください。
 - ⑤上昇停止線が見えたら、それ以上あげないでください。
- ・車体を持ち上げて作業する場合は必ずジャッキスタンドか他の安定性の良い保持台で支えてください。また、長時間あげたままにする場合も同様にしてください。
- ・車体から取り外すとき、ジャッキを縮める場合は絶対に手で縮めないでください。指を挟む恐れがあり危険です。ハンドルまたは足で踏んで縮めてください。
- ・ジャッキの持ち運びは指を挟む恐れがあるため、必ずハンドル接手を持ち行ってください。
- ・ジャッキオイルは ISO VG 10 作動オイルのみご使用ください。
- ・ジャッキは車両以外には絶対に使用しないでください。
- ・交換または廃棄する際、ジャッキオイルの廃油は「産業廃棄物」に該当します。廃棄する場合は、自治体の許可を得ている産業廃棄物収集業者または、処理業者に委託してください。

点検

- ・ジャッキを使用する前に次のことを確認し不具合があった場合は使用を止め、ご購入いただいた販売店にご相談ください。
 - ①フレームのピンが抜け出る、または外れかけていないこと。
 - ②フレームに変形、または前後左右に傾きがないこと。
 - ③ハンドル接手のポンプ回りのピンなどスナップリングの抜け出しがないこと。

車両を持ち上げる際のご注意

- ・車両重量は TSJ-850 は 1500kg 以下、TSJ-1000 は 1800kg 以下でご使用ください。
- ・交通の妨げにならず安全に作業ができる平面で固い路面を選んでご使用ください。
- ・ジャッキアップの前に次の準備をしてください。
 - ①パーキングブレーキをかける。
 - ②オートマチック車の場合は「P」に、マニュアル車の場合は「ロー」または「バック」にギアを入れる。
 - ③作業する反対側の前後車輪に輪止めをする。
 - ④スペアタイヤを取り出し、パンクしたタイヤを車体の下に置く。(ジャッキが外れた場合の危険防止のため)
- ・ジャッキアップの際は自動車の決められた位置に受け金が垂直に当たるようにしてください。(図 1)
- ・ホイールナットをゆるめてください。
- ・ジャッキアップは必要以上に高くしないでください。上昇停止線が見えたらそれ以上は上げないでください。
- ・ジャッキアップをした自動車の下には絶対に入らないでください。また、ジャッキアップ中は自動車に力を加えないでください。
- ・タイヤの交換は必ず車の取扱説明書通りに作業してください。



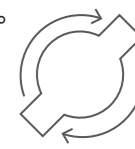
ジャッキポイント

取扱方法

〈上げるとき〉

- ・ジャッキは堅い平面な路面でジャッキの受け金の中心に垂直に荷重が掛かるようにセットしてください。(路面凍結の場合はジャッキのすべり止め防止をしてからセットしてください。)
 - ・リリースシステムにハンドル先端を差し込み、右に回し確実に閉じてください。(図 2)
 - ・ハンドル接手に備え付けのハンドルを差し込み、ポンプ操作をしてください。
- ※TSJ-1000 は備え付けのハンドルを引き伸ばした後ご使用ください。
- ・ジャッキを必要以上に上げないでください。(上昇停止線が見えたらそれ以上上げないでください。)

(図2)リリースシステム



閉じる

〈下げるとき〉

- ・リリースシステムにハンドル先端を差し込みゆっくり左に回してください。車の自重で下がります。 ※急に全開すると危険です。ご注意ください。(図 3)
- ・ジャッキを縮める場合は、絶対に手で縮めないでください。ハンドルまたは足で踏んで縮めてください。(手で縮めますと指を挟む恐れがあり危険です。)

(図3)リリースシステム

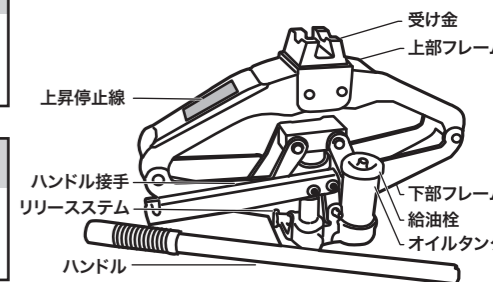


ゆっくり開く

仕様

品番	揚力	適用車両重量	高さ(最小～最大)	全長	受け金寸法
TSJ-850	8.5kN(0.85t)	1,500kg 以下	121～381mm	390mm	36×50mm
TSJ-1000	10kN(1t)	1,800kg 以下			

品番	ハンドル全長	ハンドル操作力	ベース寸法	質量	油量	作動油	使用温度範囲
TSJ-850	375mm	274N	108×117mm	5.9kg	40cc	ISOVG10	-20℃～+70℃
TSJ-1000	645mm	190N	116×120mm	6.3kg			



主な故障と処理

主な故障	原因	処理
・ジャッキが上昇しない	リリース弁が開いている	リリースシステムを右に回して確実に止めてください
	吸込弁にゴミが付着、またはキズがある	ご購入いただいた販売店にご相談ください
・最大まで上昇しない	油の不足	ジャッキを水平に置き、給油栓を外し、給油口の下端まで指定の作動油を給油してください
	リリース弁の締め込み不足	リリースシステムをさらに右に回して締めてください
・ジャッキが降下する	シート部(弁座)にキズがある	ご購入いただいた販売店にご相談ください
	ジャッキ内部に空気が入っている	①ジャッキを最高位置まで上げリリースシステムを開け、ジャッキを逆さまにして最低位置まで下げてください②ジャッキを戻し給油栓の上側を下に押し空気抜いてください
・ジャッキが自然に上昇する	作動油の入れ過ぎ	ジャッキを水平に置き給油栓を外し、給油口の下端まで作動油を抜いてください
	オイルタンクとベース結合部のシート不良、またはラム、ポンプピストン、リリース弁のシール不良	ご購入いただいた販売店にご相談ください
・ハンドルがはね返る	ボールシート部にキズがある	ご購入いただいた販売店にご相談ください
	オイルタンク内に空気が入っている	ジャッキを最低位置まで下げ、給油栓の上側を下に押しオイルタンク内の空気を抜いてください